

ソフトゴムパッドMSDS.txt

安全データシート

製造者情報 会社名……………:ミニター株式会社

住所……………:〒130-0026 東京都墨田区両国1-16-3

電話番号…:03-3633-7181 FAX:03-3633-7186

作成・改訂:2006年5月21日

---

製品名(化学名、商品名等):ソフトゴムパッド(樹脂部)

---

物質の特定 単一製品・混合物の区別:混合物

化学名:NBRポリマー、カーボンブラック、オイル、ゴム薬品の混合物

主成分: NBRポリマー(原料ゴム)とカーボンブラック

主成分の化学式又は構造式: アクリロニトリルブタジエン共重合体、炭素

化審法番号:NBRポリマー;6-454、

カーボンブラック;化審法番号 対象外

CAS No.:NBRポリマー 9003-18-3、カーボンブラック1333-86-4

---

環境影響性(PRTR法、労働安全衛生法):

PRTR法上の指定化学物質の含有量(1%以上含有しているものを表示します):

特にありません。

労働安全衛生法上の通知対象化学物質(1%以上含有しているものを表示します):

カーボンブラック 10-40%

酸化亜鉛 0-10%

鉱油 0-30%

---

危険有害性:

危険有害の分類には該当しません。

---

応急措置:

眼に入った場合:清浄な水で数分間刺激がなくなるまで洗顔した後、必要に応じて眼科医の手当てを受けて下さい。

皮膚に付着した場合:人体への特別な影響はありませんが、必要に応じて触れた場所を石鹼を使用して十分に水洗して下さい。

吸入した場合:固体のため該当しませんが、この製品を過熱、燃焼し発生したガスを吸入した場合は、すぐに通風のよい新鮮な空気の場合に移動させて下さい。もし呼吸器官に炎症を感じたら、すぐ医者の手当てを受けて下さい。

飲み込んだ場合:水で口の中をよく洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受けて下さい。

---

火災時の措置:

消火方法:水、炭酸ガス、泡消火、ドライケミカルによる消火が効果的。燃焼や熱分解、不完全燃焼により黒煙、有害な一酸化炭素ガス、窒素酸化物その他有毒ガスを発生する可能性があります。必要

ソフトゴムパッドMSDS.txt

に応じて消火作業時は防毒マスク又送気マスクを装着してください。  
予期せぬ火災、爆発性：なし。通常温度では揮発性なし。

---

漏出時の措置：

飛散したものを集め、適当な容器に集めて下さい。

---

取扱い上及び保管上の注意：

- ・消防法の指定可燃物であるので、みだりに近くで火気を使用しないで下さい。
- ・混練り加工、加硫成型加工時に製品中からオイル分、可塑剤分等の揮発分が発生する可能性があります。必要に応じて局部排気をしてください。
- ・作業後、食事や喫煙をする場合、充分手を洗い、口をゆすいでから食事、喫煙をしてください
- ・バラ積みする場合は、荷崩れ防止のため、できるだけ低く積んでください。

3000kgs以上保管する場合は、ゴム(原料ゴム、マスターバッチ、ゴム半製品、加硫済みゴム製品(難燃性を除く)、ゴムくずを含む)は、消防法上「指定可燃物」となります。市町村条例にしたがって保管してください。(ゴムは、火災が発生した時その火災拡大が速やかで、消火の活動が著しく困難になるので、3000kgs以上の保管には消防当局への届け出が必要です。消防法上許可が必要な「危険物」と異なり、危険物倉庫等の許可は不要ですが、届け出と保管の十分な管理が必要です。)

- ・発熱、発火、変質を防止するため、直射日光、高温多湿、屋外保管を避けてください。

屋内保管においては、水銀灯、蛍光灯、白熱灯等強い紫外線や高熱を発生する照明の近くには保管しないで下さい。そのために包装の袋から取り出しての保管はしないでください。

---

暴露性：本製品の暴露性については特に注意すべき点はありません。

暴露防止措置：

管理濃度：データ無し、設定されていない

特別な保護具、呼吸用保護具：不要

保護眼鏡：眼、顔面への飛散保護のため、作業時は保護眼鏡(ゴーグル型等)を使用することをお勧めします。

保護手袋：必要に応じて作業時は皮膚の保護のため保護手袋を使用してください。

保護衣：通常は必要ありませんが、必要に応じて皮膚、衣服保護のため保護服、保護前掛け等を使用してください。

---

物理／化学的性状：

外観等：黒色の板状固体

沸点：－

揮発性：高温にて一部成分が揮発性あり

融点：－

引火点：本製品は可燃性の固体であります。製品自体が引火性のある物質ではありませんが、高温加熱時に、製品成分中のオイル分がガス状となり、200℃以上で引火する可能性があります。また高温加熱熱分解時、可燃性ガスが発生する可能性があります。

初留点：－

溶解度水：溶けない

安定性及び反応性：

安定性：通常の状態では、安定です。

反応性：特にありません。

可燃性：

可燃性の固体であり、燃焼時、熱分解時、不完全燃焼時に黒煙や有害ガス(炭化水素類、一

## ソフトゴムパッドMSDS.txt

酸化炭素ガス等)を発生します。これらの発生ガスは有害なガスであり、消火作業時には必要に応じて防毒マスク又は送気マスクを装着して下さい。

有害燃焼生成物:炭化水素類、一酸化炭素、窒素酸化物

発火点(自然発火点、水との反応性):無し

酸化性:無し

自己反応性・爆発性:無し

粉塵爆発性:無し

---

有害性情報(人についての症例、疫学的情報含む):

下記参考文献のPRTR法上有害性情報の項をご参照ください。

皮膚腐食性:データ無し

刺激性:特になし

毒性:データ無し

慢性毒性:データ無し

がん原性:ゴムマスターバッチとしては発癌性データ無し

変異原性(微生物、染色体異常):データ無し

生殖毒性:データ無し

催奇形性:データ無し

その他:本製品に含まれているカーボンブラックについて、IARC グループ2Bとの評価があり今後注意が必要との報告もあります。

---

環境影響情報

下記参考文献のPRTR法上環境影響情報の項をご参照ください。

分解性:データ無し

蓄積性:データ無し

魚毒性:データ無し

含有金属に関して主原料、副原料、製造過程での材料として、鉛、ヒ素、6価クロム、カドミウム、水銀は使用しておりません。

---

廃棄上の注意

本製品:本製品は、ゴムであり、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)第2条4-1及び同施行令第2条5により、「ゴムくず」は産業廃棄物に指定されています。同施行令第6条3-又に従い、自らがゴムくずの埋め立て処分を行う場合には、予め最大径概ね15cm以下に破碎し、若しくは切断し、または自らが焼却設備を用いて焼却し埋め立て下さい。または産業廃棄物業者に委託して下さい。

本製品の包材:適用される産業廃棄物処理基準及び法規に従ってください。または産業廃棄物業者に委託して下さい。

---

輸送上の注意:

容器については、容器・袋に漏れ・こぼれのないことを確かめ転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行ってください。異物混入、直射日光による変質を防ぐため、シートを掛ける等予防策をとってください。

国連番号:該当しない

---

適用法令

消防法:「消防法上の危険物」ではありませんが、3000kgs以上の保管では、「消防法上の指定可燃物」となります。

PRTR法、労働安全衛生法:本製品中の対象化学物質、通知対象化学物質については、上記の該当欄をごらんください。

ソフトゴムパッドMSDS.txt

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法):同法第2条4-1及び同施行令第2条5により本製品のくずは産業廃棄物に指定されています。

船舶安全法:該当せず

道路運送車両法:該当せず

航空法:該当せず

---

注意事項:

この情報は、弊社が需要家にお届けする製品の安全性に関する参考情報です。本情報は、ユーザーの参考のために発行されたものであり、使用にあたり本情報が適切かつ完全であるかどうかの確認はユーザーの責任において行なうことを前提としています。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

# 製品安全データシート

## 1. 製品および会社情報

|      |       |                          |       |              |
|------|-------|--------------------------|-------|--------------|
| 製品   | 製品名   | サンドディスク                  |       |              |
|      | 製品の種類 | 研磨布                      |       |              |
|      | 用途    | 研磨作業に使用                  |       |              |
| 会社情報 | 会社名   | ミニター株式会社                 |       |              |
|      | 住所    | 〒130-0026 東京都墨田区両国1-16-3 |       |              |
|      | 担当部門  | 本社営業部                    |       |              |
|      | 電話番号  | 03-3633-7181             | FAX番号 | 03-3633-7186 |
|      | 作成日   | 2010年5月13日               | 改訂日   |              |

## 2. 危険有害性の要約

危険性 : 危険性は極めて低い。  
有害性 : 研磨作業中に発生する粉じんは眼、皮膚を刺激することがある。  
研磨作業中に発生する粉じんを吸入すると健康障害を起こすことがある。  
環境影響 : 研磨作業中に粉じんが発生するので作業環境を汚染する恐れがある。

[GHS分類] (構成純物質について)

別表参照

[GHSラベル要素] (構成純物質について)

別表参照

注意書き

予防策、応急措置、保管、廃棄については、下記4～8、13の項を参照。

## 3. 組成、成分情報

物質の特定

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分情報表

| 名称       | 化学式又は構造式                       | 号番号(注1) | CAS番号     | 含有率(%) |
|----------|--------------------------------|---------|-----------|--------|
| 酸化アルミニウム | Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> | 189     | 1344-28-1 | 20～25  |
| 炭酸カルシウム  | CaCO <sub>3</sub>              |         | 471-34-1  | 1～5    |
| 樹脂硬化物    |                                |         | なし        | 30～35  |
| 基材(綿布)   |                                |         | なし        | 40～45  |

(注1)号番号は労働安全衛生法施行令別表第9の「名称等を通知すべき危険物及び有害物」による。

## 4. 応急措置

吸入した場合 : すぐに新鮮な空気のある場所に移し、必要ならば医師の手当を受ける。  
皮膚に付着した場合 : 作業終了後、石けん水等で洗い流す。  
眼に入った場合 : 粉塵が眼に入ったら直ちに清浄な流水で洗眼する。この時強く押さえたり擦ったりしないこと。必要ならば医師の手当を受ける。  
飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませ、嘔吐させる。必要ならば医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法 : 燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。  
消火剤 : 水、粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス消火剤等。  
使ってはならない消火剤 : 情報なし。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 粉塵が眼に入った場合、水で数分開注意深く洗う。  
保護具及び緊急時処理 : 粉じんを収集する場合は保護具(保護メガネ、防じんマスク等)を着用する。  
取り扱った後は手を洗うこと。  
環境に対する注意事項 : 特になし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 作業中に粉じんが発生するので、局所排気又は全体排気を行なうこと。  
保管 : 常温・常湿の所に保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度

| 名称       | 化学式又は構造式                       | CAS番号     | 管理濃度     | 許容濃度<br>TLV-TWA                               |
|----------|--------------------------------|-----------|----------|---|
| 酸化アルミニウム | Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> | 1344-28-1 | 設定されていない | 10mg/m <sup>3</sup><br>フスベト不含<br>結晶性91%未満の微粒子 |
| 炭酸カルシウム  | CaCO <sub>3</sub>              | 471-34-1  | 設定されていない | 設定されていない                                      |
| 樹脂硬化物    |                                |           | 設定されていない | 設定されていない                                      |
| 基材       |                                |           | 設定されていない | 設定されていない                                      |

設備対策 : 粉じん対策として集じん装置を設けること又は必要に応じて全体排気をする事。  
集じん装置は発生する火花を吸収し火災になる恐れがあるので直接火花を吸収しない対策をすること。

保護具 : 作業者は次の保護具を着用すること。

呼吸器の保護具 : 粉じんの濃度及び法規制に基づいた検定済みの半面又は全面フィルター付きの防じんマスク。  
手の保護具 : 耐火花性のある手袋。  
目の保護具 : サイドシール付の安全眼鏡または、完全防護形の防じん眼鏡。  
保護衣 : 研磨作業中に発生する粉じんと皮膚との接触を避けられるもの。

9. 物理的及び化学的性質

|     |         |        |     |     |     |
|-----|---------|--------|-----|-----|-----|
| 外観  | : 有色、固体 | 引火点    | : - | 蒸気圧 | : - |
| 溶解性 | : 水に不溶  | 発火点    | : - | 比重  | : - |
| 沸点  | : -     | 爆発限界上限 | : - | 揮発性 | : - |
| 融点  | : -     | 下限     | : - | 分解点 | : - |
| 溶解度 | : -     | 臭気     | : - | その他 | : - |

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性 : 大気中で安定  
避けるべき物質 : 知見なし  
有害な分解生成物 : 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報（人についての症状、疫学的情報を含む）  
研磨作業時に発生する粉じんを長期間にわたり吸入すると、じん肺に罹るおそれがある。  
構成純物質の有害性情報は別紙参照
12. 環境影響情報  
残留性・分解性： 知見なし  
生体蓄積性： 知見なし  
土壌中の移動性： 知見なし
13. 廃棄上の注意  
残余廃棄物： 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。  
行政の許可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明確にして処理を委託する。
14. 輸送上の注意  
国際規制  
海上規制情報： 非危険物  
航空規制情報： 非危険物  
国内規制  
陸上規制情報： 規制なし  
海上規制情報： 非危険物  
航空規制情報： 非危険物  
安全対策： 水濡れ、梱包ケースの損傷に注意する。
15. 適用法令  
労働安全衛生法： 名称を通知すべき危険物及び有害物  
（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）  
粉じん障害防止規則： 研ま材を用いて動力（手持式又は可搬式動力工具によるものを除く。）  
により、岩石、鉱物若しくは金属を研まし、若しくははばり取りし、  
又は金属を裁断する作業をする場合  
化学物質排出把握管理促進法  
（P R T R法）： 該当しない  
毒物及び劇物取締法： 該当しない

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質の数値は保証値ではありません。  
危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、  
すべての資料を網羅したわけではありませんので取扱いには充分注意して下さい。

構成純物質のGHS分類

|           |               |          |
|-----------|---------------|----------|
| ○印が該当する物質 | ○<br>酸化アルミニウム | ○<br>氷晶石 |
|-----------|---------------|----------|

物理化学的危険性

|              |        |        |
|--------------|--------|--------|
| 大蒸気          | 分類対象外  | 分類対象外  |
| 可燃性・引火性ガス    | 分類対象外  | 分類対象外  |
| 可燃性・引火性エアゾール | 分類対象外  | 分類対象外  |
| 支燃性・酸化性ガス    | 分類対象外  | 分類対象外  |
| 高圧ガス         | 分類対象外  | 分類対象外  |
| 引火性液体        | 分類対象外  | 分類対象外  |
| 可燃性固体        | 区分外    | 区分外    |
| 自己反応性化学品     | 分類対象外  | 分類対象外  |
| 自然発火性液体      | 分類対象外  | 分類対象外  |
| 自己発熱性固体      | 区分外    | 区分外    |
| 自己発熱性化学品     | 区分外    | 区分外    |
| 水反応可燃性化学品    | 区分外    | 区分外    |
| 酸化性液体        | 分類対象外  | 分類対象外  |
| 酸化性固体        | 区分外    | 分類できない |
| 有機過酸化物       | 分類対象外  | 分類対象外  |
| 金属腐食性物質      | 分類できない | 分類できない |

健康に対する有害性

|                    |            |            |
|--------------------|------------|------------|
| 急性毒性(経口)           | 区分外        | 区分外        |
| 急性毒性(経皮)           | 分類できない     | 区分外        |
| 急性毒性(吸入:ガス)        | 分類対象外      | 分類対象外      |
| 急性毒性(吸入:蒸気)        | 分類できない     | 分類できない     |
| 急性毒性(吸入:粉じん)       | 分類できない     | 分類できない     |
| 急性毒性(吸入:ミスト)       | 分類できない     | 分類できない     |
| 皮膚腐食性・刺激性          | 分類できない     | 区分外        |
| 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性    | 分類できない     | 区分外        |
| 呼吸器感作性             | 分類できない     | 分類できない     |
| 皮膚感作性              | 分類できない     | 分類できない     |
| 生殖細胞変異原性           | 分類できない     | 分類できない     |
| 発がん性               | 区分外        | 分類できない     |
| 生殖毒性               | 区分できない     | 分類できない     |
| 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) | 区分3(気道刺激性) | 区分3(気道刺激性) |
| 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) | 区分1(吸入:肺)  | 分類できない     |
| 吸引性呼吸器有害性          | 分類できない     | 分類できない     |

環境に対する有害性

|           |        |     |
|-----------|--------|-----|
| 水生環境急性有害性 | 分類できない | 区分2 |
| 水生環境慢性有害性 | 分類できない | 区分外 |

ラベル要素

|         |                                     |              |
|---------|-------------------------------------|--------------|
| 絵表示     |                                     |              |
| 注意喚起語   | 危険                                  | 警告           |
| 危険有害性情報 | 呼吸器への刺激のおそれ、<br>長期又は反復ばく露吸入による肺の障害。 | 呼吸器への刺激のおそれ。 |



## 安全データシート

会 社 : ミニター株式会社  
 住 所 : 東京都墨田区両国1-16-3  
 担当部門: 営業部  
 担 当 者 : 近藤克史  
 電話番号: 03-3633-7181  
 F A X: 03-3633-7186  
 作 成 日 : 2011年11月18日  
 改 訂 日 : 2018年12月7日

[SDS番号 708 ]

|   |
|---|
| 製品名 フェルトホイール<br>危険有害性の要約<br>PRTR対象化学物質を含有しない<br>GHS分類 対象外   |
| 組成および成分情報<br>単一製品・混合物の区別 : 混合物<br>化学名 : 羊毛 Cas No. なし<br>その他微量成分  |
| 応急措置<br>眼に入った場合 : 直ちに清浄な多量の水で洗浄して下さい。<br>不快感が残ったり、眼に炎症を起こした場合には、眼科医の診療を受けて下さい。<br>皮膚に付着した場合 : 取扱い後は、清水、石鹼で洗って下さい。<br>吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所へ移して下さい。<br>症状により医師の診断を受けて下さい。<br>飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませ、吐かせて下さい。また、医師の診療を受けて下さい。 |
| 火災時の措置<br>消火方法 : 一般火災と同じ消火方法を適用できます。周囲の火災状況に適した消火剤を下記から選択し、使用して下さい。<br>燃焼または高温により、有毒ガスを発生する可能性がありますので、呼吸保護具を着用し、風上から消火活動を行ってください。<br>消火剤 : 水、炭酸ガス、泡沫消火剤、粉末消火剤、AFFF(水成膜泡消化薬剤)が有効です。                                    |
| 漏出時の措置<br>清掃し除去して下さい。河川や公共水路等に流さないで下さい。   |
| 取扱い及び保管上の注意<br>取扱い : (1)繊維の破片及び埃を吸入しない様に、また目に入らない様に、適切な保護具を着用して作業して下さい。(サイドシールド付保護眼鏡等)<br>(2)火気を避けて下さい。<br>(3)転倒、落下、衝撃を与える等の乱暴な取扱いをしないで下さい。   |

|  |                  |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
|--|------------------|------|----------|-------|---------|-------|---------|--------|---------|-----|---------|------|---------|-----|------------------|------|---------|------|---------|------|---------|--------|---------|
| <p>保管 : (1)包装は密閉し、直射日光、雨水等をさけ、室内に保管して下さい。<br/>(2)積み上げる場合は、荷崩れしない様に注意して下さい。</p>   |                  |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| <p>曝露防止措置<br/> 管理方法: 該当基準なし<br/> 許容濃度: 該当基準なし<br/> 保護具 : 防塵マスク、保護眼鏡、保護手袋、保護衣類等定められた保護具を着用して下さい。</p>  |                  |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| <p>物理的及び化学的性質</p> <table border="0"> <tr> <td>色相</td> <td>: 生成り</td> <td>臭気</td> <td>: 羊毛臭</td> </tr> <tr> <td>燃焼性</td> <td>: あり</td> <td>引火点</td> <td>: データなし</td> </tr> <tr> <td>融点</td> <td>: なし</td> <td>発火点</td> <td>: データなし</td> </tr> <tr> <td>溶解性</td> <td colspan="3">: 水には不溶、他はデータなし。</td> </tr> </table>  |                  | 色相   | : 生成り    | 臭気    | : 羊毛臭   | 燃焼性   | : あり    | 引火点    | : データなし | 融点  | : なし    | 発火点  | : データなし | 溶解性 | : 水には不溶、他はデータなし。 |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 色相   | : 生成り            | 臭気   | : 羊毛臭    |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 燃焼性  | : あり             | 引火点  | : データなし  |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 融点   | : なし             | 発火点  | : データなし  |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 溶解性  | : 水には不溶、他はデータなし。 |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| <p>安定性および反応性</p> <table border="0"> <tr> <td>安定性</td> <td>: 常温では安定</td> </tr> <tr> <td>爆発性</td> <td>: なし</td> </tr> <tr> <td>自己反応性</td> <td>: なし</td> </tr> </table>   |                  | 安定性  | : 常温では安定 | 爆発性   | : なし    | 自己反応性 | : なし    |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 安定性  | : 常温では安定         |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 爆発性  | : なし             |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 自己反応性  | : なし             |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| <p>有害性情報</p> <table border="0"> <tr> <td>急性毒性</td> <td>: データなし</td> </tr> <tr> <td>皮膚腐食性</td> <td>: データなし</td> </tr> <tr> <td>皮膚刺激性</td> <td>: データなし</td> </tr> <tr> <td>眼刺激性</td> <td>: データなし</td> </tr> <tr> <td>感作性</td> <td>: データなし</td> </tr> <tr> <td>慢性毒性</td> <td>: データなし</td> </tr> <tr> <td>癌原性</td> <td>: データなし</td> </tr> <tr> <td>変異原性</td> <td>: データなし</td> </tr> <tr> <td>催奇形性</td> <td>: データなし</td> </tr> <tr> <td>生殖毒性</td> <td>: データなし</td> </tr> <tr> <td>その他データ</td> <td>: データなし</td> </tr> </table> |                  | 急性毒性 | : データなし  | 皮膚腐食性 | : データなし | 皮膚刺激性 | : データなし | 眼刺激性   | : データなし | 感作性 | : データなし | 慢性毒性 | : データなし | 癌原性 | : データなし          | 変異原性 | : データなし | 催奇形性 | : データなし | 生殖毒性 | : データなし | その他データ | : データなし |
| 急性毒性   | : データなし          |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 皮膚腐食性  | : データなし          |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 皮膚刺激性  | : データなし          |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 眼刺激性   | : データなし          |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 感作性  | : データなし          |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 慢性毒性   | : データなし          |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 癌原性  | : データなし          |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 変異原性   | : データなし          |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 催奇形性   | : データなし          |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 生殖毒性   | : データなし          |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| その他データ   | : データなし          |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| <p>環境影響情報</p> <table border="0"> <tr> <td>分解性</td> <td>: データなし</td> </tr> <tr> <td>蓄毒性</td> <td>: データなし</td> </tr> <tr> <td>魚毒性</td> <td>: データなし</td> </tr> <tr> <td>その他データ</td> <td>: データなし</td> </tr> </table>   |                  | 分解性  | : データなし  | 蓄毒性   | : データなし | 魚毒性   | : データなし | その他データ | : データなし |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 分解性  | : データなし          |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 蓄毒性  | : データなし          |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| 魚毒性  | : データなし          |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| その他データ   | : データなし          |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| <p>廃棄上の注意<br/> 地域の固形廃棄物処理基準に基づき廃棄して下さい。(廃プラスチック類に順当)</p>   |                  |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| <p>輸送上の注意<br/> (1)梱包材が破損することがありますので乱暴な取扱いをしないで下さい。<br/> (2)輸送中に荷崩れしない様に注意して下さい。<br/> (3)梱包材が破損しますので手鉤を使用しないで下さい。<br/> (4)水に濡れたり、直射日光が当たらない様に注意して下さい。</p>   |                  |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |
| <p>主な適用法令<br/> 該当なし</p>  |                  |      |          |       |         |       |         |        |         |     |         |      |         |     |                  |      |         |      |         |      |         |        |         |

記載内容の取扱いについて

この安全データシートの記載内容は、工業的用途について一般的な取扱い等を前提として、一般に入手可能な文献及び自社データに基づいて作成しておりますが、危険・有害性の評価に関しては必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意して下さい。



注意事項は、通常の取扱いについて記述したものであって、安全を保証するものではありません。従って、ここに記載した製品の特別な取扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。

注意: 医学的用途で、人体に移植及び恒久的に体液と直接接触する用途に使用しないで下さい。

# 安全データシート

会 社 : ミニター株式会社  
住 所 : 東京都墨田区両国1-16-3  
担当部門: 営業部  
担 当 者 : 近藤克史  
電話番号: 03-3633-7181  
F A X: 03-3633-7186  
作 成 日 : 2018年12月7日

[SDS番号 990 ]

|  |                     |
|--|---------------------|
| <b>製品名</b> グリーンフェルト  |                     |
| <b>危険有害性の要約</b>  |                     |
| PRTR対象化学物質を含有しない   |                     |
| GHS分類:皮膚腐食性・刺激性 区分3  |                     |
| 皮膚感作製 区分1  |                     |
| ラベル要素:絵表示又はシンボル  |                     |
|   | 注意喚起語:警告            |
|    | 危険有害性情報:<br>軽度の皮膚刺激 |
|  | 注意喚起:危険             |
|  | 危険有害性情報:<br>発がんのおそれ |
| <br><b>危険有害性:</b> この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。<br>屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。熱、火花、裸火、高温物から遠ざけること。必要に応じて保護眼鏡を着用すること。<br>取扱い後はよく手を洗うこと。 |                     |
| <b>組成および成分情報</b>   |                     |
| 単一製品・混合物の区別 : 混合物  |                     |
| 化学名 :羊毛  | Gas No. なし          |
|  | 化審法 なし              |
| 酸化クロム  | Gas No.1308-38-9    |
|  | 化審法 1-284           |
| トリエタノールアミン   | Gas No.102-71-6     |
|  | 化審法 2-308           |
| メラミン樹脂   | Gas No.非公開          |
|  | 化審法 非公開             |
| ホルムアルデヒド   | Gas No.50-00-0      |
|  | 化審法 2-482           |
| ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム  | Gas No.577-11-7     |
|  | 化審法 2-1620          |
| その他微量成分  |                     |

|                    |   |         |                     |
|--------------------|---|---------|---------------------|
| <b>応急措置</b>        |   |         |                     |
| 眼に入った場合            | :直ちに清浄な多量の水で洗浄して下さい。<br>不快感が残ったり、眼に炎症を起こした場合には、眼科医の診療を受けて下さい。   |         |                     |
| 皮膚に付着した場合          | :取扱い後は、清水、石鹸で洗って下さい。  |         |                     |
| 吸入した場合             | :新鮮な空気のある場所へ移して下さい。<br>症状により医師の診断を受けて下さい。   |         |                     |
| 飲み込んだ場合            | :多量の水を飲ませ、吐かせて下さい。また、医師の診療を受けて下さい。  |         |                     |
| <b>火災時の措置</b>      |   |         |                     |
| 消火方法               | :一般火災と同じ消火方法を適用できます。周囲の火災状況に適した消火剤を下記から選択し、使用して下さい。<br>燃焼または高温により、有毒ガスを発生する可能性がありますので、呼吸保護具を着用し、風上から消火活動を行ってください。       |         |                     |
| 消火剤                | :炭酸ガス、泡沫消火剤、粉末消火剤、AFFF(水成膜泡消化薬剤)が有効です。  |         |                     |
| <b>漏出時の措置</b>      |   |         |                     |
| 清掃し除去して下さい。        | 河川や公共水路等に流さないで下さい。  |         |                     |
| <b>取扱い及び保管上の注意</b> |   |         |                     |
| 取扱い                | :(1)繊維の破片及び埃を吸入しない様に、また目に入らない様に、適切な保護具を着用して作業して下さい。(サイドシールド付保護眼鏡等)<br>(2)火気を避けて下さい。<br>(3)転倒、落下、衝撃を与える等の乱暴な取扱いをしないで下さい。 |         |                     |
| 保管                 | :(1)包装は密閉し、直射日光、雨水等をさけ、室内に保管して下さい。<br>(2)積み上げる場合は、荷崩れしない様に注意して下さい。  |         |                     |
| <b>曝露防止措置</b>      |   |         |                     |
| 管理方法               | :該当基準なし   |         |                     |
| 許容濃度               | :ホルムアルデヒド 0.1ppm(0.12mg/m <sup>3</sup> )<br>ACGIH: TWA-,STEL C 0.3ppm   |         |                     |
| 保護具                | :防塵マスク、保護眼鏡、保護手袋、保護衣類等定められた保護具を着用して下さい。   |         |                     |
| <b>物理的及び化学的性質</b>  |   |         |                     |
| 色相                 | :緑色   | 臭気      | :羊毛臭                |
| 燃焼性                | :あり   | 引火点     | :データなし              |
| 融点                 | :データなし  | 発火点     | :データなし              |
| 溶解性                | :水には不溶、他はデータなし。   |         |                     |
| <b>安定性および反応性</b>   |   |         |                     |
| 安定性                | :常温では安定   |         |                     |
| 爆発性                | :なし   |         |                     |
| 自己反応性              | :なし   |         |                     |
| <b>有害性情報</b>       |   |         |                     |
| 急性毒性               | :トリエタノールアミン   | ラットLD50 | 4200-11300mg/kg(経口) |
|                    |   | ウサギLD50 | 4190mg/kg(経皮)       |

|          |   |
|----------|---|
|          | <p>:ホルムアルデヒド ラット LD50 800mg/kg、マウス LD50 660mg/kg、<br/>(経口) ラット LD50 600~800mg/kg(SIDS)</p> <p>ホルムアルデヒド ウサギ LD50 270mg/kg(EHC、初期リスク評価書)<br/>(経皮)</p> <p>ホルムアルデヒド ラット LC50 480ppm/4hr(578mg/m<sup>3</sup>)(SIDS)<br/>(吸入:気体)</p> <p>ジアルキルスルホ琥珀酸エステル塩 LD50 6,300mg/kg<br/>(経口)</p> <p>ジアルキルスルホ琥珀酸エステル塩 LD50 13,032mg/kg<br/>(経皮)</p> <p>:ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム<br/>(経口)ラットLD50:1900mg/kg</p> |
| 皮膚腐食性    | :データなし  |
| 皮膚刺激性    | <p>:トリエタノールアミンはヒトで皮膚刺激性が認められたことから、<br/>区分2に分類されるが、本製品はトリエタノールアミンを10%未満<br/>含むため、区分3とした。</p> <p>:ホルムアルデヒド<br/>・ウサギを用いた皮膚刺激性試験で軽度~中等度の刺激性が<br/>みられた。(EHC)</p>   |
| 眼刺激性     | <p>:ホルムアルデヒド<br/>・疫学調査によると、眼への刺激性は1.0mg/m<sup>3</sup>(0.8ppm)以上で<br/>認められた。(初期リスク評価書)</p> <p>・ウサギを用いた眼刺激性試験で刺激性がみられた。</p> <p>・ヒトで中等度の眼刺激性が2~3ppmでみられた。(SIDS)</p> <p>ジアルキルスルホ琥珀酸エステル塩 区分2A</p>   |
| 皮膚感作性    | <p>:トリエタノールアミンは、ヒトでアレルギー性接触皮膚炎の報告が<br/>あることから区分1に分類される。</p> <p>:ホルムアルデヒド<br/>・日本産業衛生学会の皮膚感作性分類:第1群<br/>(人間に対して明らかに感作性がある物質)</p> <p>・ホルムアルデヒドに起因するアナフィラキシーや接触皮膚炎等の<br/>事例が多数報告されている。(初期リスク評価書)</p> <p>・モルモットを用いたマキシマイゼーション試験とマウスのLLNA試験<br/>で感作性を示した。(初期リスク評価書、SIDS)</p>   |
| 呼吸器感作性   | <p>:ホルムアルデヒド<br/>・日本産業衛生学会の気道感作性分類:第2群<br/>(人間に対しておそらく感作性があると考えられる物質)</p> <p>・ヒトでホルムアルデヒドの吸引暴露によって気管支喘息が<br/>誘発されたとの事例がある。(初期リスク評価書)</p>  |
| 生殖細胞変異原性 | <p>:ホルムアルデヒド<br/>・ラットを用いたin vivo染色体異常試験や小核試験、精子形態試験で<br/>陽性であった。(初期リスク評価書)</p>  |

|          |   |
|----------|---|
|          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラットを用いたin vivo姉妹染色分体交換試験、マウスを用いた小核試験や染色体異常試験で陰性であった。(有害性評価書)</li> <li>・in vitroの復帰突然変異試験や姉妹染色分体交換試験で陽性であった。(初期リスク評価書)</li> </ul>  |
| 発がん性     | <p>:ホルムアルデヒド</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IARCの発がん性分類:グループ1(ヒトに対して発がん性を示す)</li> <li>・ACGIHの発がん性分類:A2(ヒトに対して発がん性が疑われる物質)</li> <li>・日本産業衛生学会の発がん性分類:2A(人間に対しておそらく発がん性があると考えられる物質(証拠がより十分な物質))</li> </ul>   |
| 慢性毒性     | :データなし  |
| 癌原性      | :データなし  |
| 変異原性     | :データなし  |
| 催奇形性     | :データなし  |
| 生殖毒性     | <p>:ホルムアルデヒド</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雌ラットの妊娠6~20日目または妊娠6~15日目に吸入暴露した試験で、奇形や骨格異常を持つ胎児数、生存児数、吸収胚数等に影響はみられなかった。(初期リスク評価書)</li> <li>・雌マウスの妊娠6~15日目に飲水投与した試験及びハムスターの妊娠8~11日にホルムアルデヒド溶液を投与した試験で、生殖・発生毒性はみられなかった。(初期リスク評価書)</li> </ul>   |
| 特定標的臓器毒性 | <p>:ホルムアルデヒド</p> <p>(単回ばく露)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吸入暴露により、ヒトで鼻及び口蓋神経の感受性低下、眼及び呼吸器系への刺激、視床下部の変化等が観察された。(初期リスク評価書)</li> <li>・120mg/m<sup>3</sup>以上の吸入暴露で、唾液分泌亢進、急性の呼吸困難、嘔吐、筋肉の痙攣等を引き起こし、気道刺激や気管支肺胞狭窄、肺浮腫も見られた。(SIDS、初期リスク評価書)</li> </ul>  |
| 特定標的臓器毒性 | <p>:ホルムアルデヒド</p> <p>(反復ばく露)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒトで刺激性に起因する呼吸器への影響や中枢神経系への影響がみられた。(ECETOC)</li> <li>・雄ラットに28ヶ月間吸入暴露した試験で、気管管腔の炎症、気管支上皮の化生、呼吸困難、背彎姿勢等がみられた。(初期リスク評価書)</li> <li>・ラットに2年間飲水投与した試験で、1900mg/L投与群で腺胃の過形成、前胃の限局性角化亢進が観察された。(初期リスク評価書)</li> <li>・サルに26週間吸入暴露した試験で、1ppm以上で鼻甲介粘膜において扁平上皮化生がみられた。(初期リスク評価書)</li> </ul> |
| その他データ   | :データなし  |
| 環境影響情報   |   |
| 分解性      | :データなし  |
| 蓄毒性      | :データなし  |

|  |   |
|--|---|
| 魚毒性  | :ホルムアルデヒド<br>・(ストライプトバス) LC50(96hr) 6.7mg/L (初期リスク評価書)<br>・(ニジマス) NOEC(28day) 15.0mg/L (初期リスク評価書)<br>・(オオミジンコ) EC50(48hr) 5.8mg/L (初期リスク評価書)<br>・(セネデスムス) ErC50(24hr) 14.7mg/L (初期リスク評価書) |
| 残留性/分解性  | :ホルムアルデヒド<br>・化審法に基づく2週間の生分解性試験で良分解性と判定された。<br>(既存点検、初期リスク評価書)  |
| 生体蓄積性  | :ホルムアルデヒド<br>・生物濃縮係数(BCF) :3.2(計算値) (初期リスク評価書)  |
| その他データ   | :データなし  |
| <b>廃棄上の注意</b><br>地域の固形廃棄物処理基準に基づき廃棄して下さい。  |   |
| <b>輸送上の注意</b><br>(1)梱包材が破損することがありますので乱暴な取扱いをしないで下さい。<br>(2)輸送中に荷崩れしない様に注意して下さい。<br>(3)梱包材が破損しますので手鉤を使用しないで下さい。<br>(4)水に濡れたり、直射日光が当たらない様に注意して下さい。   |   |
| <b>主な適用法令</b><br>酸化クロム 労働安全衛生法:名称を通知すべき有害物 142 クロム及びその化合物<br>PRTR法:第一種指定化学物質 87 クロム及び三価クロム化合物<br>トリエタノールアミン 労働安全衛生法:名称を通知すべき有害物質<br>381 トリエタノールアミン<br>ホルムアルデヒド PRTR法:第一種指定化学物質、特定第一種指定化学物質<br>労働安全衛生法:名称を通知すべき危険物及び有害物<br>化審法:優先評価化学物質(法第2条第5項)<br>水質汚濁防止法:指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)<br>大気汚染防止法:特定物質(法第17条第1項、政令第10条)<br>有害大気汚染物質、優先取組物質(中央環境審議会第9次答申)<br>労働基準法:疾病化学物質(法第75条第2項、<br>施行規則第35条別表第1の2第4号1) |   |

**記載内容の取扱いについて**

この安全データシートの記載内容は、工業的用途について一般的な取扱い等を前提として、一般に入手可能な文献及び自社データに基づいて作成しておりますが、危険・有害性の評価に関しては必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意して下さい。

注意事項は、通常の取扱いについて記述したものであって、安全を保証するものではありません。従って、ここに記載した製品の特別な取扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。

注意: 医学的用途で、人体に移植及び恒久的に体液と直接接触する用途に使用しないで下さい。